

# 軽防協ニュース速報（号外）

2003年3月25日

軽種馬防疫協議会 事務局

（JRA 馬事部防疫課）

## 英国でのウマインフルエンザ発生に関する最新情報

英国ニューマーケットにおけるウマインフルエンザ発生の概要についてお知らせいたします。

ニューマーケット（英国、サフォーク州）のサラブレッド種競走馬厩舎において、ウマインフルエンザの発生が確認されている。初発は2003年3月7日で、1頭の馬に臨床症状が認められ、その後、全ての同居馬（70～80頭）に発咳や鼻漏などの症状が急速に広がった。発熱は2頭のみ認められ、体温の上昇は38.9℃程度であった。

この厩舎では、完全なワクチネーションプログラムに基づいて、OIEによって推奨されているアメリカ型とヨーロッパ型の両ワクチン株を含んだウマインフルエンザワクチンを全ての繋養馬に接種しており、2002年11月には、全頭に対して補強接種が行われていた。

大多数の繋養馬から急性期の血清と鼻粘膜スワブが採材され、そのうちの鼻粘膜スワブ8検体は、NP-ELISA法によって陽性が確認されている。現在のところ、アニマルヘルストラストの研究所において5頭からウイルスが分離されている。さらなる調査が引き続き行われており、ウイルス型等のさらなる情報が報告されるものと思われる。